

- 1 日時 平成26年11月19日(水) 第5限
- 2 学年 第3学年 男子2名 女子0名 計2名
- 3 単元名 民話や物語の組み立てを考えよう
- 4 教材名 三年とうげ
- 5 指導にあたって

【教材観】

民話教材には、これまで学習した外国の民話には、「おおきなかぶ」(ロシア)、「スーホの白い馬」(モンゴル)がある。「三年とうげ」は、朝鮮半島に伝わる民話である。民話教材の特徴は、①明快な人物設定や場面設定②単純明快なストーリー③民話独特の語り口や言い回し④効果的な擬声語・擬態語⑤くり返しや対比の構造があるといわれている。

本教材も「三年とうげで転んだことにより死ぬかもしれないと弱気になったおじいさんが、知恵者の機転により元気になり、幸せに、長生きした」という明快な物語であり、民話独特の楽しいリズムのある語り口、朝鮮半島の農村の雰囲気をも十分に表現した挿絵、人間の生き方や生きるための知恵等のおもしろさがあり、三年生の児童が興味をもって読むことの出来る教材である。

【指導観】

本教材学習のてびきでは、民話や物語の組み立てについて①はじまり・物語が繰り広げられる「場」(時・場所・人物など)のしょうかい。②出来事(事件)が起きる。・登場人物がこまる、など。③出来事(事件)が変化する。・解決に向けて、出来事が動いていく。④むすび・出来事(事件)が解決する。・その後どうなったか。と大きく4つの組み立て例が示されている。よって、これらの組み立てをわかりやすく整理するために日本の昔話を例に挙げて説明する。

更に中心人物であるおじいさんの心情の変化を捉えるために変なところ探しのゲームを楽しみながら、「はじめ・・・だったおじいさんが・・・によって・・・になる話」を捉えられるような活動させようと考えている。児童は、これまで文学作品学習した経験を活かし、ワークシート学習での自主学習を中心に進め、学習係もできるだけ活躍できる場面を設定使用と考えている。

本学年の児童は、読み聞かせが大好きであるので、三次に限らず一次や二次でも時間を見つけて、他の民話をできるだけ多く読み聞かせたり紹介したりして民話に興味をもたせ、民話の世界を広げられるようにしたい。

【授業づくりの工夫】

○シンプル(焦点化)

- ・物語の組み立てを捉えられるように表にまとめる。
- ・ゲームをしながら中心人物の変化を捉える。

○ビジュアル(視覚化)

- ・挿絵やセンテンスカードにより中心人物の変化を捉える。
- ・中心人物の変化を図解して因果関係を捉える。

○シェア

- ・自分の考えを説明する。
- ・異学年交流や大人に聞いてもらえる機会を多くつくる。

6 単元の目標

- ◎ 物語の組み立てや、登場人物の気持ちの変化を捉えることができる。
- ◎ 他の国々の民話を読んで、民話の世界を広げることができる。
- ◎ 登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
- ◎ 感想文の書こうとするものの中心を明確にし、理由を挙げて書くことができる。

7 単元の評価規準

- 【関】・物語の組み立てに興味をもち、進んで学習に取り組もうとしている。
 - ・進んで読み聞かせを聞いたり他の民話を読もうとしたりしている。
- 【読】・物語がどのように組み立てられているかを整理しながら読んでいる。
 - ・会話文、情景描写、挿絵から中心人物の心情の変化を読み取っている。
- 【言】・文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。

8 指導計画

【3年生】(全6時間)

次	学習内容	・指導上の留意点 ◇評価規準 ☆個への配慮
第一次 (一時間)	<p>○物語の文の組み立てを知 る。</p> <p>・物語の4つの組み立てを知 る。</p> <p>・すらすら読めるように音読 練習をする。</p>	<p>・よく知っている昔話の挿絵を4枚提示する。</p> <p>・3、4年合同でよく知っている物語を使って四つの組み立て① はじまり②事件が起きる③事件が変化する④むすびを説明す る。</p> <p>◇物語の組み立てを理解している。</p> <p>・練習時間を十分確保する。</p> <p>・ペア音読をしてすらすら読めるようにする。</p> <p>◇教材に興味をもち、音読練習をしている。</p> <p>☆一人になりそうなときは、大人にペア学習してもらえるように 依頼しておく。</p>
第二次 (三時間)	<p>○「三年とうげ」を読む。</p> <p>・作品設定、文章の組み立て を表にまとめる。②</p> <p>・心情の変化を考え、図にま とめる。① (本時)</p> <p>・</p>	<p>・表に「いつ」「どこ」「場所」「事件」をまとめてから、四つの 組み立てを考えさせる。</p> <p>・表や挿絵のワークシートに自分でまとめさせる。(S)</p> <p>◇物語の組み立てに興味をもち、進んで学習に取り組もうとして いる。</p> <p>・二人で話し合いながら拡大ワークシートにもまとめさせる。 (S・V)</p> <p>◇物語がどのように組み立てられているか整理しながら読んでい る。</p> <p>・ダウト・誰の言葉・どんな順番等のゲームにより心情の変化に 気付かせる。(S)</p> <p>・国語系の司会で学習を進められるようにする。(H)</p> <p>・中心人物の変化を図解して因果関係を捉えさせる。(V)</p> <p>◇中心人物の変化を読み取っている。</p> <p>・楽しいところや好きな言葉や文を見つけて音読する。</p>
第三次 (二時間)	<p>○他の民話を読む。②</p> <p>・読み聞かせを聞く。</p> <p>・自分で読む。</p>	<p>・いろいろな国の民話を読み聞かせる。</p> <p>・自分で他の民話を読み、おもしろかったことを紹介出来るよう にする。</p> <p>◇進んで読み聞かせを聞いたり他の民話を読もうとしたりして いる。</p>

- 1 日時 平成26年11月19日(水) 第5限
- 2 学年 第4学年 男子0名 女子2名 計2名
- 3 単元名 物語を読んで、感想を書こう
- 4 教材名 三つのお願い
- 5 指導にあたって

【教材観】

本単元は、物語「三つのお願い」と、学習の手引き、そして資料「やさしい心」により構成されている。児童は、「感想文を書く」というゴールに向かって「三つのお願い」を読み、手引きにより感想文のまとめ方を学習し、資料を参考にしながら自分の感想をまとめていくという学習計画が考えられる。

「三つのお願い」は、アメリカ人女性ルシール＝クリフトンが書いた絵本が翻訳された外国の物語ではあるが、登場人物が児童と同年齢であり、友達関係のことが描かれているので、登場人物を日本の子ども達に置き換えてもそのまま楽しめるわかりやすい物語である。

中心人物ノービィ（ゼノビア）が「これは、わたしに起こったほんとの話なんだ。」と読み手を物語へ引き込んでから話が始まる。この物語は、大きく五つの場面で構成され、中心人物ノービィ（ゼノビア）は、最初は、自分の一番願っていることは何であるかよくわかっていなかったが、ママの話を聞いたり自分の誕生した年にできた1セント硬貨に託す三つ目の願いがかなったりしたことにより改めて友達の大切さや自分が一番願っているものに気付くという話である。また、本教材は、一人称（ノービィ）の視点で書かれているので、読み手は自然と中心人物に同化していき、共感的に読み進められる教材である。

【指導観】

本単元では、「三つのお願い」という作品を読んで「感想文を書く」という活動を行うが、そのためにも「読むこと」を充実させなければならない。まず、一読して初発の感想を書かせ、音読やワークシート学習により読みを深めさせる。その際、中心人物を「わたし」に置き換えたり登場人物を身近な友達の名前に置き換えてたりして音読することにより、中心人物の変化を捉えやすくさせることができると思う。更に、センテンスカードや挿絵を使い、中心人物の変化を図解したり、題名の意味についても考えさせたりしたい。本学級の児童は、一人で黙々と学習することが多く、友達との意見交流を出来ないのが現状である。楽しくわかる・できる授業にするために何とか意見を交流する場を設定し、児童が生き生きと学べる学習空間をつくるように三年生との交流場面を設定できるようにする。また、よりよい感想文を書くためにも中心人物と自分を同化させながら自分の考えを明確にして、初め・中・終わりの組み立てを意識して書かせるようにする。手引きで紹介された〈感想を書くとき、使ってみたい言葉〉や〈資料〉を参考にして書かせていく。そのようにして書き上げた感想が初発の感想に比べどのように深まり、充実したかを吟味していく態度を育てたい。

【授業づくりの工夫】

○シンプル（焦点化）

- ・ 作品設定を表にまとめ、物語の大体の内容を捉えさせる。
- ・ 中心人物の変化を音読により捉えさせる。
- ・ 題名の意味を考えさせる。

○ビジュアル（視覚化）

- ・ 挿絵やセンテンスカードにより中心人物の心情を捉えさせる。
- ・ 中心人物の変化を図解して因果関係を捉えさせる。
- ・ 感想文の書き方を図で示す。

○シェア

- ・ 自分の考えを相手に説明できるようにする。
- ・ 異学年交流や大人に聞いてもらえる機会を多くつくる。

6 単元の目標

- ◎ 中心人物の心情の変化を捉え、題名の意味を考えることができる。
- ◎ 感想文の書こうとするものの中心を明確にし、理由を挙げて書くことができる。

7 単元の評価規準

【関】・自分の体験と重ね併せながら物語を読もうとしている。

【読】・会話文や行動描写から人物の心情を読み取っている。

- ・ 音読により心情を読み取っている。
- ・ 引用したり要約したりしながら感想を書いている。

- 【書】・自分の知識や体験を根拠に、考えたことを書いている。
 ・考えと根拠の関係に注意しながら、段落相互の関係に気をつけて書いている。
 ・自分の考えを述べるために、例を挙げている。
 ・よりよい表現にするために書いたものを見直している。
- 【言】・感想を表すときに使う言葉や表現を増やしている。

8 指導計画
 (全9時間)

次	学習内容	・指導上の留意点 ◇評価規準 ☆個への配慮
第一次 (一時間)	○物語の文の組み立てを知る。 ・物語の4つの組み立てを知る。 ・すらすら読めるように音読練習をする。	・よく知っている昔話の挿絵を4枚提示する。 ・3、4年合同でよく知っている物語を使って四つの組み立て①はじまり②事件が起きる③事件が変化する④むすびを説明する。 ◇物語の組み立てを理解している。 ・練習時間を十分確保する。 ・ペア音読をしてすらすら読めるようにする。 ◇教材に興味をもち、音読練習をしている。 ☆一人になりそうときは、大人にペア学習してもらえるように依頼しておく。
第二次 (五時間)	○「三つのお願い」を読む。 ・作品設定を表にまとめる。① ・ワークシート学習で自主学びをする。② ・心情の変化を考え、図にまとめる。① 本時 ・役割音読をする。①	・表に「いつ」「どこ」「場所」「事件」をまとめ、作品設定を捉えさせる。(S・V) ・ワークシートに自分でまとめさせる。(S) ◇進んで作品設定をまとめようと学習に取り組もうとしている。 ・二人で話し合いながら拡大ワークシートにもまとめさせる。(S・V) ・ワークシート学習で自主的に物語を読ませる。(S) ・変なところ探しのゲームにより 心情の変化に気付かせる。(S・V) ・題名の意味を考えさせる。(S) ◇中心人物の変化を読み取り、題名の意味について考えている。 ・地の文が誰の目と心で書かれているかを確認するために「ノービィ」を「わたし」に変えたり「ピクター」を友達の名前に変えたりして読ませる。このとき、自分がどんな気持ちになったかを話し合わせるようにする。(S) ・役割読みをするとき、人数が足りないときは大人が手伝う。(H) ・ノービィの性格がわかるように音読させる。 ◇語り手がノービィの視点で書かれていることに気付いている。
第三次 (三時間)	○感想文を書く ・学習の手引きを読んで感想文の書き方を知る。① ・感想文を書く②	・学習の手引きを読んで感想文の書き方を知らせる。(S) ・「初め」には、一文の感想・「中には」感じたことや考えたこと、「終わり」には読んだ自分について書くことを知らせる。(V) ・自分の考えを明確にして感想を書かせる。 ・書いたものを見直し、3年生に聞いてもらうようにする。(H)

9 本時の目標 (10月 19日)

◎おじいさんの心情の変化を図にまとめたり、作品のおもしろさを発表したりできる。

◎ノービィの心情の変化を図にまとめたり、題名の意味を考えたりできる。

3年生		わ た り	4年生	
・留意点 ◇評価 ☆個への指導	学習活動		学習活動	・留意点 ◇評価 ☆個への指導
<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に課題を提示する。 ・センテンスカードに一箇所ずつ間違いを入れて並べておく。(S・V) ☆どうしてもわからないときは教科書を見てもよいことを知らせる。 ・国語係に進めさせる。 ・まず、言えるようになってから書かせるようにする。(S・H) ◇中心人物の心情の変化をまとめることができている。 ・民話のおもしろさを見つけさせる。(S) ・後で紹介できるようにサイドラインを引かせる。 ☆どうしてもわからないときは、掲示プリントに着目させる。(V) ◇民話のおもしろさを見つけている。 ・様子や気持ちがわかるように音読し、四年生に聞いてもらえるようにする。(H) ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認する。 ・センテンスカードの間違いさがしをする。 ・センテンスカードに合う絵を選ぶ。 ・「はじめ・・・だった中心人物が・・・によって・・・になる話」とまとめる。 ・「三年とうげ」の好きなおもしろかったところを見つける。 ・好きなおもしろかったところを音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認する。 ・センテンスカードの間違いさがしをする ・センテンスカードに合う絵を選ぶ。 ・「はじめ・・・だった中心人物が・・・によって・・・になる話」とまとめる。 ・題名の意味を考える。 ・「三つのお願い」の絵本を見る。 ・四年生の発表を聞く。 ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に課題を提示する。 ・センテンスカードに一箇所ずつ間違いを入れて並べておく。(S・V) ☆どうしてもわからないときは教科書を見てもよいことを知らせる。 ・国語係に進めさせる。 ・まず、言えるようになってから書かせるようにする。(S・H) ◇中心人物の心情の変化をまとめることができている。 ・「なぜ、三つのお願い」という題名なのか考えさせる。(S・V) ・どうしてもわからないときは、ヒントカードから選ばせるようにする。(V) ◇中心人物の変化から題名の意味に気付いている ・絵本の副題や絵本の帯に書かれていることを読んで再度題名の意味を確認し、すっきりさせる。(S) ・読み方や昨年学習したことを思い出して感想を言わせる。(H) 	

中心人物の変化を図にまとめましょう。

はじめ

（

）が

ゆめが

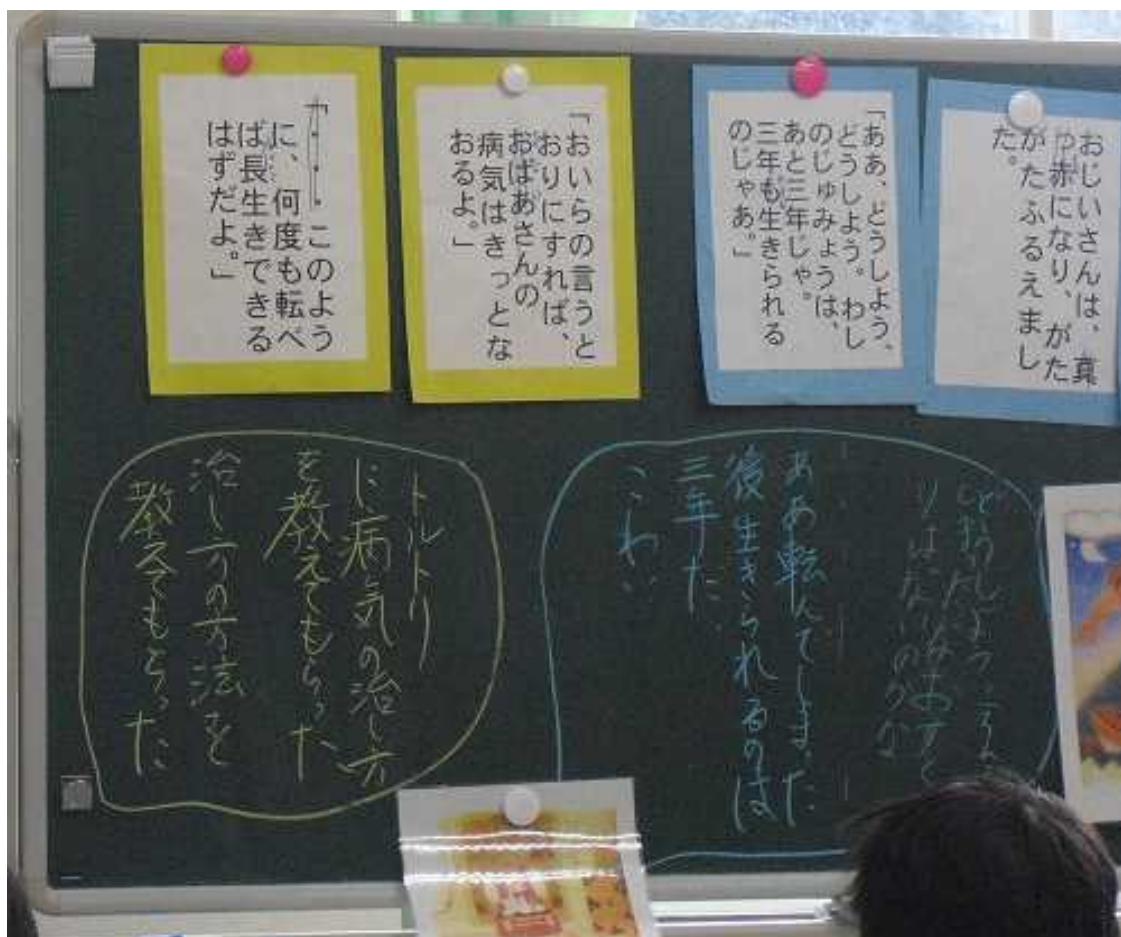
になる話

【研究協議】





【3年生板書】



お日様が西に
かたなげに空
をけや明く
た。んだん
むき夕や
だむき夕や
だむき夕や
りだむお

おじいさんは、真
つ赤になり、がた
たが。たふるえま
し

「おいらの言うのと
おりにすれば、
おばあさんの
病気はきつとな
おるよ。」

「……このよう
には、何度も
ばばに、長生き
はずだよ。」

おじいさん
は、少
し
うれ
しく
な
り
まし
た。
ま
ま

「もう、わしこの病気
もはなとおつた。の
も、二百年も、百年
生きができるわ
い。」

とおじいさんは、すっ
かりおとなしくな
かりおとなしくな
りおばあさんと「
人なかよく、幸せに
長生きしたいといっ
とです。

どおどお。願いがかなう。
た。た。た。そ。な。る。と。
こ。れ。は。ち。よ。う。と。
忘。れ。な。き。也。

やいたおど
つを。願ん
た。大まいび
事たがし
にかや
しおなり
ち願つ。

「お願いを何か
ももらえませんか
ただ、何をおし
願います。」

「この世で大切な
なもの。それは友達。
いいもの。そう、
いい友達。」

願いがかなった。
いどんぴしゃり。
お

いで走つてきた。
お

がらゝすごくいいいきお

を見てもにかがこっち
お